

ソーラーシェアリングは全国の約3割に広がっている一方、 太陽光パネルの下で育成する品種に課題があることが明らかに

～ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する全国調査結果から～

千葉大学倉阪研究室とNPO法人地域持続研究所は、全国の農業委員会に対して、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する実態調査を実施した。その結果、全国の約3割にソーラーシェアリングが広がっているが、シイタケなど遮光率100%の案件や、遮光率が高くても生育する特定の作物が選ばれる傾向があることなど、太陽光パネルの下で育成する品種に課題があることがわかった。

■ 調査の概要

注) 農業委員会：市町村に置かれている行政委員会で農地に関する事務を執行すること
注) ソーラーシェアリング：営農を継続しながら、農地を太陽光発電にも活用すること

調査時期：2018年10月

調査対象：一定の基準を超える農地面積を持つ市町村の農業委員会（沖縄県は全農業委員会）1465か所

調査方法：郵送アンケート調査 回答数：1174件（回答率、80.1%）

（本調査の企画は、倉阪研究室の学生（法政経学部3年）4名が行い、千葉・エコエネルギー社へのヒアリングの上、調査項目を作成した。調査費用は、千葉エコ・エネルギー株式会社からNPO法人地域持続研究所に調査委託を行う形で賄った。調査のとりまとめは、倉阪研究室とNPO法人地域持続研究所がとりおこなった。）

■ 調査結果のポイント

- ① **ソーラーシェアリングのための農地転用許可件数**は、2018年8月末までで**1347件**。全体の**29%**。2014年（217件）と比較すると**4年間で6.2倍**に増えている。【図1】
- ② 都道府県別の許可件数が多い順に千葉県（313件）、静岡県（173件）、群馬県（132件）【図2】
- ③ **遮光率が高くても（日陰でも）生育可能な品種が選ばれる傾向**がある。遮光率100%の事例が見られる。作付け作物の許可市町村数の多い順にミョウガ（65か所）、サカキ（41）、米（35）、しいたけ（31）許可件数が多い市町村においてダイコンドラ、レッドクローバー（紫ツメクサ）が集中的に栽培されている。
- ④ **ソーラーシェアリングに懐疑的な農業委員会が多い**【図3】
「太陽光パネルの下で十分に営農できないと思う」（58.8%）
「わざわざ農地の上で太陽光発電をしなくてもいいと思う」（48.0%）

■ 調査結果の考察

太陽光発電と営農が両立するようなソーラーシェアリングが広がり、その結果、耕作放棄地の解消や後継者の確保、エネルギーの地域自給への寄与がもたらされることが望ましい。しかし、全国の農業委員会においては、売電を主な目的とする「ソーラーシェアリング」案件に苦慮している状況が把握できた。

とくに、ソーラーシェアリングと位置づけることが適切かどうか、疑問がある例として、ダイコンドラやレッドクローバー（雑草対策のため芝にかわるグランドカバーとして育成される品種）の作付けや、しいたけや薬用ニンジンなど遮光率100%の品種の作付けがある。このように従来の作付け品種とは全く異なる品種が選ばれることも問題であろう。

今後、国は、営農に繋がらない「ソーラーシェアリング」案件を抑制する取組を進めるとともに、国や県が、ソーラーシェアリングとして推奨する品種と適正な遮光率水準などを地域ごとに示し、健全なソーラーシェアリングを育成する取組が必要ではないか。（千葉大学大学院社会科学研究院教授倉阪秀史）



【図1】ソーラーシェアリング許可件数累積



原本シイタケを育成するソーラーシェアリングの事例（出典）工藤宗介「太陽光パネル下でシイタケを収穫、遮光ネットで発電量アップ」『メガソーラービジネス』2017年12月5日

本件に関するお問い合わせ
千葉大学法政経学部倉阪研究室
TEL:043-290-3585 メール: kurasaka@chiba-u.jp

■調査を企画した学生（千葉大学法政経学部3年生）の意見

- ・農業を第一に考え、ソーラーシェアリングの本来の目的に合った運用を促すような施策に期待したい。（浅井綾介）
- ・本来あるべきソーラーシェアリングの状態と実態の乖離を知り、政策というものはしっかりと実態を把握した上でその実態に即して適切に打ち出されるべきであると強く感じた。（石塚郁海）
- ・ソーラーシェアリングの実態を調査することで見えなかった問題を発見することができてよかった。全国の農業委員会にアンケートを送る作業が大変ではあったが、8割を超える返信があり、やりがいを感じた。（江原荘麻）
- ・農地転用許可件数が短期間で増えている一方、ソーラーシェアリングを心配する農業委員会の声が多いことに驚いた。ソーラーシェアリングの本来の目的を事業者にも周知させる必要があると感じた。（中村巧）

【図2】ソーラーシェアリングのための農地転用許可件数ランキング

	許可件数	ランキング
千葉県	313	1
静岡県	173	2
群馬県	132	3
徳島県	80	4
福島県	64	5
茨城県	57	6
山梨県	38	7
岐阜県	36	8
香川県	35	9
兵庫県	29	10
埼玉県	26	11
愛媛県	25	12
神奈川県	24	13
奈良県	23	14
広島県	23	14
宮城県	22	16
愛知県	21	17
長野県	19	18
和歌山県	18	19
熊本県	18	19
滋賀県	16	21
栃木県	14	22
新潟県	14	22
福岡県	14	22
島根県	11	25
京都府	10	26
沖縄県	10	26
山形県	7	28
福井県	7	28
鳥取県	7	28
宮崎県	7	28
青森県	6	32
高知県	6	32
北海道	4	34
岩手県	4	34
三重県	4	34
大阪府	4	34
佐賀県	4	34
鹿児島県	4	34
秋田県	3	40
東京都	3	40
石川県	2	42
長崎県	2	42
岡山県	1	44
富山県	0	45
山口県	0	45
大分県	0	45

【図3】貴農業委員会は「ソーラーシェアリング」について、どのように考えていらっしゃいますか（複数回答可）

問 1 0		
a. 耕作放棄地の解消につながると思う。	197	16.8%
b. 農家の後継者の確保につながると思う。	34	2.9%
c. パネルの下で新しい特産物が生まれると思う。	16	1.4%
d. エネルギーの地域自給につながると思う。	111	9.5%
e. 景観の破壊につながると思う。	212	18.1%
f. 農作物市場にひずみを生じさせると思う。	7	0.6%
g. 太陽光パネルの下で十分に営農できないと思う。	690	58.8%
h. わざわざ農地の上で太陽光発電をしなくてもいいと思う。	564	48.0%
i. その他(自由にお書きください)	194	16.5%

n= 1174



サカキを育成するソーラーシェアリングの事例
(出典) 株式会社エコライフジャパンスタッフ
ブログ「ミョウガやサカキと太陽光を分け合
う、熊本の営農型発電所」2015年9月25日



レッドクローバーを育成するソーラー
シェアリングの事例(出典) 郷田孝樹
「【営農型太陽光発電事業者です】草刈
等業務委託先を探しています!!!」
『ジモティー徳島版』2019年1月2日



ダイカンドラを育成するソーラーシェ
アリングの事例
(出典) 加藤伸一「東金市のメガソーラー
に見る、多年草「ダイカンドラ」による
雑草対策」『日経XTech』2017年6月13
日



稲作ソーラーシェアリングの事例
(出典) 「ソーラーシェアリングと稲刈
り」『SoraShare』2016年9月29日



調査報告書はこちら

<http://ur0.biz/Q7zd>